

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

他者とのかかわりが個人を成長させる 中原 淳 (東京大学准教授)

1. 教育学や心理学の理論からすると、人が自分 1 人だけで学ぶことは難しい。他者の影響がないと、人は学習して成長することはないのです。これは大人になっても同じです。ところが成果主義によって職場の人間関係が険悪になり、社員同士のつながりも弱まってしまった。学習に必要な他者からの影響を受けられなくなってしまったのです。
2. 「他者とのかかわりが個人を成長させる」というテーマの調査を実施しました。その調査結果を分析したところ、企業の職場に「業務支援」「内省支援」「精神支援」という 3 つの支援が存在していることが判明しました。精神支援とは、息抜きや安らぎを与えてもらうこと。業務支援は、業務に必要な知識やスキルを提供してもらったり、業務をスムーズに進められるように取り計らってもらったりすることです。そして内省支援は、自分自身を振り返るきっかけを与えてもらうことです。
3. このうち精神支援を与えられるのは、職場の上司だけです。一方、業務支援は、職場の同僚や同期が提供してくれる。このようにほかの支援はそれを与えてくれる他者が限定されるのに対して、内省支援だけは職場にかかわるすべての人から提供してもらえます。ですから 3 つの支援の中で内省支援が最も強力です。

(参考:「日経ビジネス」2010 年 3 月 22 日号)

経営者のための理念・哲学

人間が心を美しく豊かにする 5 つの心

安田映胤 (薬師寺長老)

1. 私は人間が心を美しく、豊かにするには、次の 5 つの心が大事だと思います。感謝の心、慈悲の心、敬いの心、詫びる心、許す心です。この 5 つの心の大切さはどの宗教でも説いています。だから、みんな知っているはずですが、しかし、知識として知っているのと、本当に自分が実感できるか、そして実践できるかは違います。特に「詫びる心」「許す心」ということは実に難しいと思います。
2. 詫びるほうも、許すほうも勇気のいることです。お釈迦様は「怨みに報いるのに、怨みをもってしたらば、ついに怨みの息むことはない。怨みを捨てて息む」と言っています。詫びる心、許す心、そして感謝の心、慈悲の心、敬いの心、単に言葉で理解するのではなく、自分の生活で生かす。そして初めて本当の「まほろば (素晴らしいところ)」が築けるのではないかと思います。

(参考:「致知」:2010 年 6 月号)

ワンポイント経営アドバイス

執念なきものに発明はない

安藤百福 (日清食品創業者)

1. 戦災、事業整理、経営破綻と一度ならず三度も振り出しに戻った安藤百福は、このとき 46 歳。常人なら人生を投げ出してもおかしくない場面だ。だが百福は、「失ったのは財産だけではないか、その分だけ経験が血や肉となって身についた」と、すぐ次の夢に向う。庭に 3 坪の小屋を建て朝 5 時から深夜 1 時、2 時まで、一日も休まず即席ラーメンの研究に没頭した。
2. そして 48 歳の夏、「チキンラーメン」が完成する。お湯をかけるだけで食べられる「魔法のラーメン」は瞬く間に日本中に広まった。「発明はひらめきから。ひらめきは執念から。執念なきものに発明はない」。不屈の男はこう喝破した。

(参考:「日経トップリーダー」2010 年 5 月号)

古典に学ぶ

日常の心構え

「階段の途中で差しかかって、急に速度がにぶるようでは、それはその人が身心ともにまだ生命力の弱い証拠と言ってよいでしょう。と申すのも、この場合階段というものが、やがてまた人生の逆境にも通ずると言えるからです」

(参考:森 信三「修身教授録抄」:致知出版社)